

## 施設等の一般公開の開催状況

開催期間	形態（区分）	対象	公開講座等名称	概要	参加人数
H27.11.3	公開講演会	地域、一般	宇宙地球環境研究所設立記念公開講演会「私たちの暮らしと宇宙地球環境」	一般の方々を対象として、研究所の研究者が行っている研究の最新の結果をテーマを絞って紹介する。今回は『私たちの暮らしと宇宙地球環境』をテーマに宇宙・太陽から地球までのつながりを考えながら、私たちの暮らしのあり方と将来の地球環境変動への対応について、研究所の教員1名と外部から講師を2名招いて講演を行った。	251
H27.10.29	一般公開	学生	江南市立宮田中学校 名古屋近郊総合学習	名古屋近郊総合学習のため、江南市立宮田中学校の1年生5名が高橋教授による雲・降水についての講義を受けた後、屋上のレーダを見学した。	5
H27.10.17	一般公開	学生	愛知学院愛知中学校「土曜講座の取材」	愛知中学の1年生6名が校外学習の一環として高橋教授を訪問し、大気不安定とゲリラ豪雨についての質疑応答と解説を受けたのち、屋上のレーダ見学と名大で開催されていたホームカミンディの展示を見学した。	6
H27.8.25	一般公開	学生	岡崎高校体験学習	岡崎高校の2年生を対象にセンターの研究についての体験学習。講義、プランクトンの顕微鏡観察、ラジオゾンデの模擬打ち上げ実験などを行った。	30
H26.11.25	一般公開	一般	気象レーダ見学会	映像情報メディア学会による「最新の気象観測用ドップラーレーダー（Kaバンド・Xバンド）見学会及び、観測成果発表会を開催。	11
H26.11.13	一般公開	学生	総合学習のための調査、研究活動	「総合学習のための調査、研究活動」の一環として「地球温暖化による異常気象」について上田教授が名古屋大学教育学部附属中学校1年生の生徒に訪問を受けた。	1
H26.11.12	一般公開	学生	中高生の総合学習のための調査、研究活動	「総合学習のための調査、研究活動」の一環として「海洋汚染」について石坂教授が名古屋大学教育学部附属高等学校1年生に訪問を受けた。	1
H26.11.12	一般公開	学生	中高生の総合学習のための調査、研究活動	「総合学習のための調査、研究活動」の一環として「生き方をさぐる：研究者とは」について石坂教授が名古屋大学教育学部附属中学校1年生に訪問を受けた。	1

H27.1.10	公開講演会	地域、一般	環境災害リスクと地球水循環研究	一般の方々を対象として、センターの研究者が行っている研究の最新の結果を毎年テーマを絞って紹介している。今回は『環境災害リスクと地球水循環研究』をテーマに様々な環境災害とそのリスク評価において、地球科学、特に地球水循環研究が果たす役割について、センターの教員1名と外部から講師を2名招いて講演を行った。	143
H26.10.16	一般公開	学生	江南市立宮田中学校 名古屋近郊総合学習	名古屋近郊総合学習のため、「地球大気、雲と降水など」について坪木教授が江南市立宮田中学校の1年生に訪問を受けた。	5
H26.8.5	一般公開	学生	岡崎高校体験学習	岡崎高校の2年生を対象にセンターの研究についての体験学習。講義、プランクトンの顕微鏡観察、分光測定、ラジオゾンデの模擬打ち上げ実験などを行った。	22
H25.12.21	公開講演会	地域、一般	地球環境変動－気候変化からハビタビリティまで－	一般の方々を対象として、センターの研究者が行っている研究の最新の結果を毎年テーマを絞って紹介している。今回は『地球環境変動－気候変化からハビタビリティまで－』をテーマに数十年から数十億年にわたるさまざまな時間スケールで起こる地球環境変動の成り立ちについてセンターの教員1名と外部から講師を3名招いて講演を行った。	105
H25.8.8	一般公開	学生	岡崎高校体験学習	岡崎高校の2年生を対象にセンターの研究についての体験学習。講義、プランクトンの顕微鏡観察、ラジオゾンデの模擬打ち上げ実験などを行った。	9
H25.7.22	一般公開	学生	愛知教育大学附属岡崎中学校体験学習	学生が広く地域社会に出かけ、自らの課題の追求を深めて行く体験学習の取材に協力している。「異常気象の過去について」の取材を受けた。	1

社会活動（講演・講習会開催等）

開催期間	形態（区分）	対象	企画名称	会場	概要	主催・共催	出演・登壇者	参加人数
H27.11.30-12.11	講義	水文学関連学生・職員	The Twenty-fifth IHP Training Course	京都大学防災研究所	ユネスコ・アジア太平洋地域国際水文学計画（IHP）への協力の一環として、毎年2週間の期間でアジアを中心に参加者を募り研修コースを実施している。今回は「25th Risk Management of Water-related Disasters under Changing Climate」をテーマとして京都大学が主体となって開催した。	京都大学防災研究所附属水資源環境研究センター・名古屋大学宇宙地球環境研究所	田中茂信 京都大学防災研究所附属水資源環境研究センター教授 他	24
H27.9.20	シンポジウム	一般	第19回自然科学研究機構シンポジウム「宇宙から脳まで 自然科学研究の“ビッグバン” ーコンピューターが切り開く自然科学の未来ー」	名古屋大学豊田講堂	コンピューターサイエンスの発展がいかに分野の発展に寄与しているかという視点で、宇宙から脳まで、さまざまな自然科学研究分野の最先端の研究者が講演。 坪木教授が「超大規模シミュレーションが拓く気象学の最先端」をテーマに講演。	主催：大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 共催：国立大学法人 名古屋大学、中日新聞社 後援：愛知県教育委員会	坪木和久（名古屋大学地球水循環研究センター教授）他	
H26.11.23-12.7	講義	水文学関連学生・職員	The Twenty-fourth IHP Training Course	名古屋大学地球水循環研究センター	ユネスコ・アジア太平洋地域国際水文学計画（IHP）への協力の一環として、毎年2週間の期間でアジアを中心に参加者を募り研修コースを実施している。今回は「Forest Hydrology・Conservation of Forest, Soil, and Water Resources」をテーマとして地球水循環研究センターが主体となって開催した。	名古屋大学地球水循環研究センター	熊谷朝臣・榎山哲哉・藤波初木（名古屋大学地球水循環研究センター）他	12
H26.10.18	講演会	一般	<a href="#">「アラスカの森林について」(Artの追及 土曜日のMorning café 「美を拓くものたち」展Part2 関連事業)</a>	西堀榮三郎記念探検の殿堂	アラスカ内陸部で見られる森林について紹介し、極北ならではの植物の特徴や生き様について講演。	西堀榮三郎記念探検の殿堂	中井太郎（名古屋大学・地球水循環研究センター 研究員/アラスカ大学フェアバンクス校・国際北極圏研究センター 客員研究助教/アマチュアカメラマン・タイムラプス（微速度撮影）	
H26.10.15	講義	学生	大学出前授業「豊北ユニバーシティ」	愛知県立豊田北高等学校	愛知県立豊田北高等学校1、2年生を対象とした名古屋大学の研究者による講義。「海洋における生物地球化学的循環」をテーマに講演。	愛知県立豊田北高等学校	三野義尚（名古屋大学地球水循環研究センター 助教）他	21
H26.9.14	講演会	一般	<a href="#">「オーロラ舞う極北の大地にて オーロラの迫力映像とアラスカでの日々」</a>	奥州宇宙遊学館	オーロラの魅力や撮影方法、アラスカでの生活の様子などを講演。	NPO法人イーハート宇宙実践センター、奥州宇宙遊学館	中井太郎（名古屋大学・地球水循環研究センター 研究員/アラスカ大学フェアバンクス校・国際北極圏研究センター 客員研究助教）	70
H26.10.27 H26.11.24 H26.12.22 H27.1.26	講義	一般	<a href="#">中日文化センター講座「水の危機 地球環境のフロンティア」</a>	中日文化センター	世界で起きている水に関する環境問題と今後の課題について解説する下記の4回の講座を担当。 第1回「地球をめぐる水：北極域に焦点を当てて」第2回「地球温暖化と水：シベリアの水環境と社会」第3回「南部アフリカ・ナミビアの水：半乾燥地の水と食料」第4回「我が国の水・これからの水」。	中日文化センター	榎山哲哉（名古屋大学地球水循環研究センター教授）	
H26.2.1 H26.3.1 H26.3.29	講義	一般	<a href="#">中日文化センター講座「積乱雲と竜巻」</a>	中日文化センター	竜巻とそれをもたらす積乱雲の特性やその予測の実態について解説する下記の3回の講座を担当。 第1回「竜巻の実態」第2回「竜巻をもたらす積乱雲の特性」第3回「竜巻の予測と対策」。	中日文化センター	坪木和久（名古屋大学地球水循環研究センター教授）	
H26.3.2	講演会	一般	<a href="#">「極光 アラスカで追いつけた夢」オーロラの映像とお話会</a>	西堀榮三郎記念探検の殿堂	オーロラの映像を見ながら撮影にまつわる話やアラスカの話を紹介。	西堀榮三郎記念探検の殿堂	中井太郎（名古屋大学・地球水循環研究センター 研究員/アラスカ大学フェアバンクス校・国際北極圏研究センター 客員研究助教）	70
H26.2.24	講演会	一般（建設・建材部会員対象だが他部会員も参加可能）	第10回建設・建材部会 講演会「スーパー台風はどこまで強くなるか～気候変動が日本に与える影響」	大阪商工会議所	異常気象の背景とその行方をにらみながら、建設・建材業界として果たすべき課題や役割について考える。	大阪商工会議所 地域振興部	坪木和久（名古屋大学地球水循環研究センター教授）	150

H25.12.2-13	講義	水文学関連学生・職員	The Twenty-third IHP Training Course	京都大学防災研究所	ユネスコ・アジア太平洋地域国際水文学計画 (IHP) への協力の一環として、毎年2週間の期間でアジアを中心に参加者を募り研修コースを実施している。今回は「Ecohydrology for River Basin Management under Climate Change」をテーマとして京都大学が主体となって開催した。	京都大学防災研究所附属水資源環境研究センター・名古屋大学地球水循環研究センター	角 哲也・京都大学防災研究所附属水資源環境研究センター 他 14名	24
H25.10.23	講義	環境関連学生・職員	NOWPAP-PICES Joint Training Course on Remote Sensing Data Analysis	Ocean University of China, Qingdao, China 中国海洋大学 (中国 山東省 青島)	同トレーニングコースで基礎生産と衛星による北西太平洋の沿岸環境モニタリングに関する講義。	NOWPAP(Northwest Pacific Action Plan)/United Nations Environment Programmeおよび PICES (North Pacific Marine Science Organization)	石坂丞二・名古屋大学地球水循環研究センター教授	23
H25.10.22-24	講義		台風セミナー2013	京都府立ゼミナールハウス	台風研究において「これまでに何が理解され、いま何が理解されていないのか、もしくは理解することが求められているのか？それらの理解のためにはどうすればよいのか？」を徹底的に議論する。参加者同士の深い議論を通じ、日本における台風研究者をレベルアップし、新たな研究テーマを発掘することを目指す。	主催：台風セミナー実行委員会 共催：名古屋大学 地球水循環研究センター 大気圏水循環研究推進チーム (VL 推進室)	Jeff Keper (オーストラリア気象局博士)伊藤久徳 (九州大学 名誉教授)	32
H25.10.16	講義	学生	「集中豪雨のメカニズム」	愛知県立豊田北高等学校	愛知県立豊田北高等学校1、2年生を対象とした名古屋大学の研究者による講義。	愛知県立豊田北高等学校	篠田太郎・名古屋大学地球水循環研究センター 准教授 他	18
H25.10.14	サイエンスカフェ	中学生以上の一般市民	名大カフェ 第38回「蒲郡発！ 宇宙から地球を観る ～気象観測バルーンで飛んだiPhone～」	ジュンク堂書店 ロフト名古屋店	専門家と市民との気軽な対話イベント「飛行機より高く、けれども人工衛星ほど高くない宇宙 (そら) から地球を観ると何が見えるでしょう？地球をとりまく大気のパール、地球の生命を育み守っている美しい姿が見えます。地球に大気があることが、どれほど奇跡的で貴重なことかを皆様と共に考えます。」	イベント企画：名大カフェ (名古屋大学 リサーチ・アドミニストレーション室)、さかさサイエンストーク 共催：名古屋大学地球水循環研究センター、名古屋大学、あいちサイエンスフェスティバル事務局	坪木和久・名古屋大学地球水循環研究センター教授 佐原 理・名古屋文理大学情報文化学部情報メディア学科 助教	30名程度
H25.10.6	講演会 報告会 シンポジウム	中学生以上大人向け	アマロ宇宙へ行く！～宇宙から地球を観てみよう2013～ 成果報告シンポジウム	蒲郡市生命の海科学館	「アマロ宇宙へ行く！」企画で成層圏からの地球の撮影に成功したその経緯の報告と成果の披露 蒲郡市生命の海科学館 (蒲郡市) は2012年より、名古屋文理大学、名古屋大学地球水循環研究センター、明星電気株式会社らとともに、気象観測用気球に搭載したiPhoneやデジタルカメラによる、成層圏からの地球の撮影に挑戦してきた。この度、地上25000メートル (成層圏) からの地球の映像を含む、気球打ち上げから回収までの全工程の撮影に成功した。ダブルバルーン方式では日本初の成果となる。	主催：名古屋文理大学、名古屋大学地球水循環研究センター、愛知工科大学、蒲郡市生命の海科学館 共催：名古屋大学あいちサイエンスフェスティバル事務局、第29回ISTS開催支援愛知・名古屋実行委員会 協力：明星電気株式会社、株式会社GOCCO、蒲郡海洋開発(株)ラグーナ蒲郡、(一社)日本航空宇宙工業会	佐原 理・名古屋文理大学情報文化学部情報メディア学科 助教 坪木和久・名古屋大学地球水循環研究センター教授	100名程度
H25.9.24-25	講義	大学院生・若手研究者	第7回VL講習会「メソ気象現象の解析」	名古屋大学研究所共同館	バーチャルラボラトリー (VL) 活動の一環として大学院生や若手研究者を対象に連携研究を促進するための講習会をシリーズで実施している。今回は「メソ気象現象の解析」をテーマに、グループ単位でメソ気象解析を実践し、各グループの解析結果について発表した。	名古屋大学地球水循環研究センター	上田 博・坪木和久・名古屋大学地球水循環研究センター 教授	21
H25.8.29	講演会	一般 (満18才以上)	<a href="#">平成25年度名古屋大学公開講座「絆 つなぐ、つながるを考える」(全15回) 第4回「人と海をつなぐ：人・水循環・海洋生態系」</a>	名古屋大学経済学部講義室	「絆」をメインキーワードにして、幅広い観点から、つなぐ、つながるに関連するテーマで、名古屋大学の教員が自らの学問分野の成果を生かしてわかりやすく講義します。	名古屋大学研究協力部 社会連携課	石坂丞二・名古屋大学地球水循環研究センター教授 他	募集定員 200名